医療関係者用
（患者指導用）

慢性炎症性脱髄性多発根神経炎患者さん用

CIDP症状評価シート
―I-RODS・INCAT―

監修:山口大学大学院医学系研究科 保健学専攻 教授 古賀 道明 先生

このシートは、慢性炎症性脱髄性多発根神経炎（CIDP）患者さんの
重症度や日常生活への影響度の評価スケールである
I-RODSとINCATを評価するためのシートです。

I-RODSは患者さんが自分で記入する形式で、
待合室等で実施することが可能です。
INCATは医療関係者が患者さんの上肢・下肢の状態を
評価して記録します。
患者さんの重症度評価や治療効果判定にご活用ください。

アルジェニクスジャパン株式会社

JP-VDJCIDP-24-00070
（2024年12月作成）

CIDP症状評価シート

年　　月　　日

● I-RODS（Inflammatory Rasch-built Disability Scale）

- CIDP症状が日常生活にどの程度影響を及ぼしているか確認しましょう。
- 24項目のスケールで、一般的な日常動作や社会活動を実施する際の難易度を0〜2点（下表では○・△・×）で評価します。
- スコアが高いほど、CIDP症状の影響が少ない状態です。
- 患者さん自身で記録が可能です。

I-RODSスコアの確認方法

各項目の行動が

問題なくできる：○　**やや問題があるができる：△**　**できない：×**

としてチェックをつけましょう。
最後にチェックの数からスコアを計算して、下に記録してください。

No	項　目	問題なくできる ○	やや問題があるができる △	できない ×
1	新聞や本を読む			
2	食べる			
3	歯を磨く			
4	上半身を洗う			
5	トイレに座る			
6	サンドイッチを作る			
7	上半身の服を着る			
8	下半身を洗う			
9	いすを移動させる			
10	鍵穴に差し込まれた鍵を回す			
11	かかりつけ医に行く			
12	シャワーを浴びる			
13	お皿を洗う			
14	買い物をする			
15	物をキャッチする（ボールなど）			
16	前かがみになって物を取る			
17	1つ上の階まで階段を上がる			
18	公共交通機関で移動する			
19	障害物を避けながら歩く			
20	屋外を歩行する（1km以内）			
21	重い物を運んで、降ろす			
22	ダンスを踊る			
23	数時間の起立			
24	走る			
		個	個	個
		○＝2点	△＝1点	×＝0点

計　　／48点

上の合計点を、右の2次元コードのリンク先で
I-RODSスコア（100点満点）に変換して記録しましょう。

I-RODSスコア

計　　点

- 結果はノモグラムを用いた百分率指標スコアに変換し、4%以上の改善で有意な改善と評価できます（上記の2次元コードのリンク先で変換が可能です）。

Van Nes SI, et al.: Neurology. 2011; 76 (4) : 337-345. (PMID：21263135) ,
日本神経学会 監修: 慢性炎症性脱髄性多発根ニューロパチー, 多巣性運動ニューロパチー診療ガイドライン作成委員会 編集: 慢性炎症性脱髄性多発根ニューロパチー, 多巣性運動ニューロパチー診療ガイドライン2024, p91-93, 南江堂, 2024. より作成

CIDP症状評価シート

年　月　日

● INCATスコア（Inflammatory Neuropathy Cause and Treatment disability scale）

- 上肢と下肢の運動機能を0点（問題なし）～5点（目的のある動作ができない）でスコア化して、10点満点で評価します。
- 点数が大きいほど障害が大きいと評価されます。
- 医療従事者が客観的に評価する必要があります。

INCATスコアの確認方法

上肢・下肢それぞれについて、
0~5点のいずれに当てはまるかを
問診等で評価してください。

INCAT障害スコア：上肢の障害

上肢スコア　点

0	上肢に問題なし
1	片腕又は両腕に症状があり、評価動作に影響は及ぼさない程度
2	片腕又は両腕に症状があり、評価動作のいずれかに影響はあるが、実行可能
3	片腕又は両腕に症状があり、評価動作の1つ又は2つが不可能
4	片腕又は両腕に症状があり、評価動作の3つ又は全てが不可能であるが、何らかの意図した動作は可能
5	どちらの上肢も、意図した動きができない

上肢の評価動作	● ジッパーの開閉とボタンがけ ● ナイフとフォーク（スプーン）の使用	● 洗髪と整髪 ● 小さな硬貨を扱う

INCAT障害スコア：下肢の障害

下肢スコア　点

0	歩行に問題なし
1	歩行に影響はあるが、屋外で独歩可能
2	通常、屋外の歩行時に、片側のみ歩行補助（杖1本、松葉杖1本、片側の介助）を使用
3	通常、屋外の歩行時に、両側の歩行補助（杖2本、松葉杖2本、両側の介助）を使用
4	通常、移動に車椅子を使用するが、介助があれば立位保持や数歩の歩行が可能
5	移動は車椅子の使用に限られ、介助があっても立位保持や数歩の歩行が不可能

INCATスコア（合計）　点

- 1点以上の改善があれば有意な改善と評価されます。

Hughes R, et al.: Ann Neurol. 2001; 50 (2) : 195-201. (PMID：11506402) ,
日本神経学会 監修: 慢性炎症性脱髄性多発根ニューロパチー, 多巣性運動ニューロパチー診療ガイドライン作成委員会 編集:
慢性炎症性脱髄性多発根ニューロパチー, 多巣性運動ニューロパチー診療ガイドライン2024, p15, 91-93, 南江堂, 2024. より作成